

平成 29 年 館 林 市 議 会 第 3 回 定 例 会
一 般 質 問 通 告 順 位 表

1. 齊 藤 貢 一 君 【一問一答】

質 問 事 項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 社会保障制度に対する当市の現状と今後について	<p>年金制度や介護保険法が改正される中、当市の現状をどのように把握したらいいのか、課題を聞き、現状から今後の方向性について問う。</p> <p>①年金の受給資格について問う。 ②今後の介護保険の方向性について問う。 ③地域包括ケアシステムの機能について問う。 ④先進的な介護対策を推進する和光市の例に関して問う。 ⑤健康寿命の延伸について問う。 ⑥認知症について問う。 ⑦市長の公約に基づく政策について。</p>	市長・所管部長

2. 向 井 誠 君 【一問一答】

質 問 事 項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) マイナンバーカードと自治体クラウドについて	<p>納税や子育て、年金受給に関する行政手続きがよりスムーズになるマイナンバーカードの普及とその活用方法について問う。</p> <p>そして「データ」が市民生活を豊かにする社会の実現に向けた施策について問う。</p> <p>①マイナンバーカードの交付率は。 ②これまでの普及に関する取り組みは。 ③マイナンバーカードの活用についての考えは。 ④マイナンバーカード申請の環境整備について問う。 ⑤自治体クラウドについての認識は。 ⑥自治体クラウド導入の考えについて問う。</p>	所管部長
(2) 防災拠点へのWi-Fi普及について	<p>大規模災害時の通信手段であるスマートフォンやタブレット端末に必要なWi-Fiの防災拠点への設置について問う。</p> <p>①災害時での通信手段の確保はどう考えているか。 ②避難所等にWi-Fiを整備する考えは。 ③整備した場合の予算はどの位かかるのか。 ④既存の通信会社との提携の考えは。</p>	所管部長
(3) 要介護度の改善・維持に向けた取り組みについて	<p>介護サービスにより高齢者の要介護度や日常生活動作が改善した場合の介護事業者に対する報奨金や表彰について問う。</p> <p>①本市における要介護認定者数はどの位か。 ②今後要介護者数はどのように推移していくのか。 ③効果のある自立支援について評価していく考えは。</p>	所管部長

3. 権田昌弘君【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1)本市の行政サービス等について	<p>自治体の目的は、住民福祉の増進にある。ということでもあります。</p> <p>福祉とは、イコール幸福感であり、幸福感を感じていただくには、行政サービスの向上が常に必要であります。</p> <p>本市における行政サービス向上に向けた対応について伺います。</p> <p>①子どもを対象にした生活実態調査を受けての行政サービスについて問う。</p> <p>②つつじが岡公園での行政サービスについて問う。</p> <p>③つつじが岡パークインの今後の活用について問う。</p> <p>④アダプト制度の導入について問う。</p> <p>⑤市民課での行政サービスについて問う。</p> <p>⑥市役所内各窓口での対応について問う。</p> <p>⑦マイナンバーを活用した行政サービスのあり方について問う。</p>	所管部長

4. 渋谷理津子君【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1)つつじが岡パークインの平成30年度の利用再開に向けた取組みについて	<p>つつじが岡パークインの平成30年度の利用再開に向けての進捗状況について伺います。</p> <p>①利用停止中の管理を6月以降どのように行ってきたか。</p> <p>②利用再開に向けて、事務の進捗状況はどうか。</p> <p>③つつじが岡パークインはどうあるべきと捉えているか。</p>	市長・所管部長
(2)防災体制について	<p>「災害は忘れたころにやってくる」と言われています。本市は比較的自然災害に見舞われないように思われていますが、万が一のとき、市民の生命・財産を守る備えはどのようにされていますか。</p> <p>①本市の防災計画をどう活用していくのか。</p> <p>②災害に強いまちとはどのようなまちと考えるか。</p> <p>③市民が自ら身を守るための啓発活動はどのように行っているか。</p> <p>④本市に危惧される災害とその対策について。</p>	市長・所管部長

5. 渡辺充徳君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 立地適正化計画にかかる土地利用について	<p>館林都市圏広域立地適正化に関する基本方針が策定され、今後、本市において立地適正化計画策定が計画されている。</p> <p>今後の土地利用において重要な計画と位置づけられることから、策定の効果等について問う。</p> <p>①本市の土地利用はどのように推移していったのか。</p> <p>②立地適正化計画策定のねらいと効果について問う。</p> <p>③居住誘導区域や都市機能誘導区域をどのように設定するのか。</p> <p>④市街化調整区域をどのように位置づけるのか。</p> <p>⑤市街化調整区域における開発需要や住民福祉ニーズ等にどのように対応するのか。</p> <p>⑥立地適正化計画の成果の指標をどのように設定するのか。</p> <p>⑦住民アンケートや公聴会などでの住民意見をどのように反映し、今後策定に取り組んでいくのか。</p>	所管部長

6. 篠木正明君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 国民健康保険について	<p>来年度から国民健康保険が都道府県単位に広域化される予定になっていますが、国民健康保険の役割と問題点及び広域化によってどう変わるのか、お尋ねします。</p> <p>①国民健康保険制度の役割は何か。</p> <p>②国民健康保険制度の問題点は何か。</p> <p>③広域化で国民健康保険制度はどう変わるのか。</p> <p>④保険料（税）はどのように決まるのか。</p> <p>⑤保険料（税）の値上げをどのように抑えるのか。</p>	所管部長

7. 吉野高史君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 環境保全と安全対策について	<p>21世紀は環境の世紀と言われて久しい。自然豊かな本市に産業廃棄物を県等の許可なく不法に投棄して、県から指導を受けていると聞いているが、実態について。</p> <p>①溶融スラグの安全性について問う。 ②溶融スラグの赤羽地区埋め立てについて県との連携について問う。 ③鉄鋼スラグと溶融スラグの長期的な観点での安全性について問う。 ④現在工事中である、特に大量の盛土について問う。 ⑤環境保全に対する市長の考えを問う。</p>	市長・所管部長
(2) 教育施設の現状と今後について	<p>教育施設の中の特に小・中学校における設備状況や一般市民や多くの人々が利用している教育施設に対する利用状況や収支状況について。</p> <p>①小・中学校の各教室における冷暖房設備の状況について問う。 ②本市の教育・文化施設の状況について問う。 ③市民プールの状況について問う。 ④第一・第二資料館の状況について問う。 ⑤公共施設の総合的な見直し（指定管理者等）について問う。</p>	市長・所管部長

8. 小林信君 【総括質問】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 林間学校廃止に伴う代替としての城沼の利活用及びパークインの再開について	<p>東毛林間学校が廃止となり、中学生の自然体験、野外活動に城沼の利活用と宿泊施設としてのパークインの再開が必要となります。</p> <p>①赤城林間学校の代替案の検討状況について。 ②身近な自然である城沼の市内外における利活用について。 ③宿泊施設としてのパークインの再開見通しについて。</p>	教育長・所管部長